

2018年11月30日  
中部電力株式会社

## 2018年度 中部エリアの冬季電力需給見通しについて

今冬の電力需給は、国等が検証を行った結果、火力増出力運転およびエリア間取引の活用が行われることで、安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しです。

### < 厳寒1点最大電力<sup>※1</sup> バランス (火力増出力運転およびエリア間取引考慮後) >

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
最大電力 (A)	2,295 万 kW	2,382 万 kW	2,382 万 kW	2,240 万 kW
供給力 (B)	2,543 万 kW	2,571 万 kW	2,588 万 kW	2,597 万 kW
供給予備力 (B-A)	247 万 kW	189 万 kW	206 万 kW	358 万 kW
供給予備率 (%)	10.8 %	7.9 %	8.6 %	16.0 %

※1：至近10か年で最も厳寒であった年（2017年度）と同程度の気象条件が発生した場合の最大電力  
注）四捨五入の関係で計算が合わない場合があります

### < 国等による電力需給検証 >

電力広域的運営推進機関「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」

[https://www.occto.or.jp/houkokusho/2018/denryoku\\_jukyukensho\\_201811.html](https://www.occto.or.jp/houkokusho/2018/denryoku_jukyukensho_201811.html)

経済産業省「総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会」

第12回 資料7-1,2

[http://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/denryoku\\_gas/012.html](http://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/012.html)

以上